

秋田わか杉っ子学び充実事業

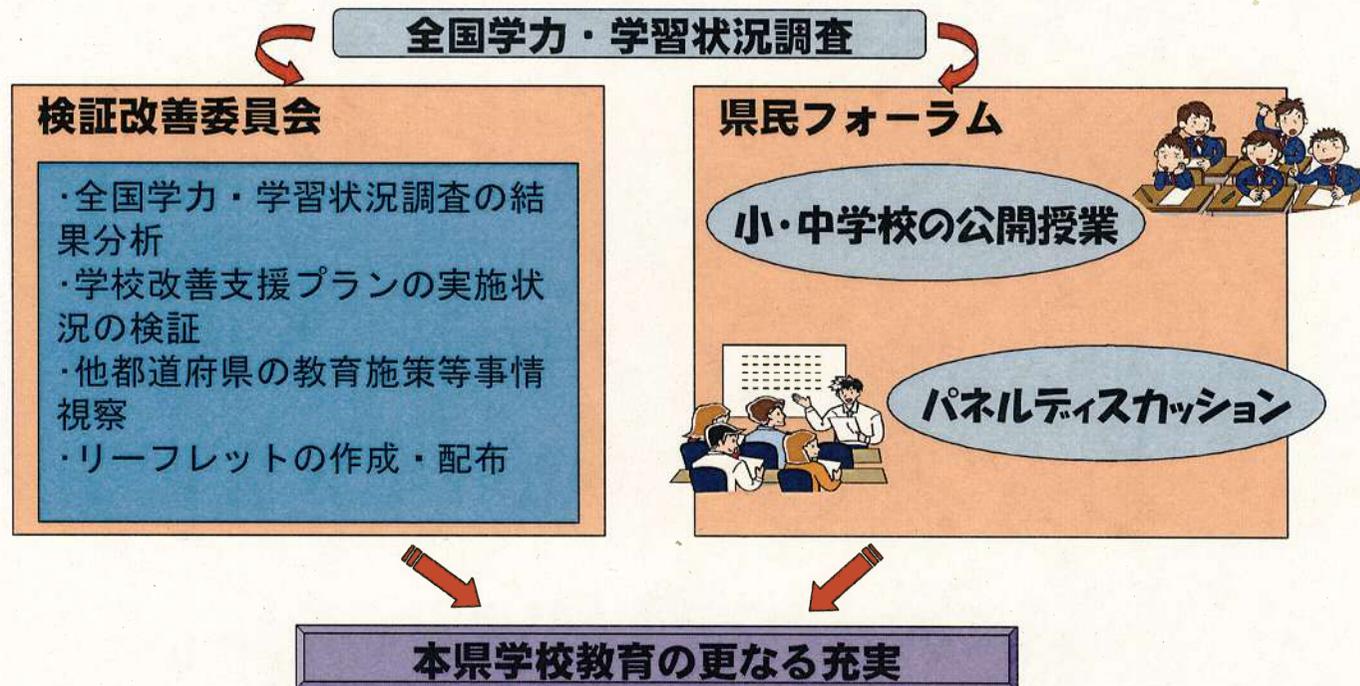
義務教育課

趣 旨

教育の成果と課題の把握

教育施策や教育活動の改善

県民の教育への関心を高める



秋田県教育委員会

小学校まなび・ふれあい充実事業

総務課・義務教育課

1 事業概要・ねらい

普通学級6～7学級の小学校へ臨時講師を1名加配し、教育課程編成や指導方法の工夫改善による学校課題の解決に取り組む



小規模小学校
の活性化

小学校教員 { ○子供理解のプロ→◎複数の目による子供理解
・教科指導のプロ→○得意教科を生かした指導

2 教員1名配置によるメリット

* 加配によって生み出された時間を活用して、他の教員も得意分野を生かした教科指導を担当する

①学習意欲の向上と学習指導の充実

- ・学年の系統性を見通し、教科の魅力味わわせる質の高い授業の提供
- ・児童の興味・関心の喚起
- ・教科の専門性を生かした「補充的な学習」や「発展的な学習」など一層きめ細かな指導の実現
- ・小学校外国語活動の効果的な実施

②触れ合いの確保による児童理解の充実

- ・複数教師による多面的児童理解による積極的な生徒指導の実現
- ・子どもと向き合う時間を確保し、複数の目と手をかけることで、児童や保護者の安心感や信頼感が増大

③教育課程の工夫による学校課題の解決

- ・学習指導や生徒指導の課題解決に対応した教育課程の実現

④小・中学校の円滑な接続

- ・中学校入学時から中学校の学習や生活に適応可能

(活用例1) 各教員の得意分野を生かした質の高い授業の実践

学年	担任	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道	特	総
1年	A								K		S			
2年	B								K		S			
3年	C		B		S	F								
4年	D		B		S	F								
5年	E		B		S	F		D	C	A				
6年	F	E	B		S			D	C	A				

※S: 加配教員 K: 教頭

(活用例2) 複数教員の全学年指導で児童理解の深化

学年	担任	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道	特	総
1年	A						AC				SK			
2年	B		C				BD				SK			
3年	C				CD	S			K		SC			
4年	D		C		CD	S			K		SD			
5年	E		C		EF	S		D	K		EF			
6年	F		C		EF	S		D	K		EF			

※S: 加配教員 K: 教頭 C: 生徒指導主事

義務教育課

先端科学体験事業

★国内トップレベルの科学技術開発や研究室の現場を体験する
 ★世界トップレベルの研究者の研究内容や生き方に触れる



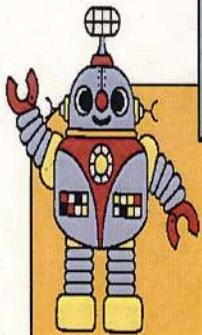
★夢や希望がはぐまれる
 ★学習意欲が向上する



★理数系の学習への関心・意欲の向上
 ★理数系の分野への進路希望者増加

応募要件

- ・理数・科学系への興味・関心レポート
- ・わか杉思考コンテスト等参加経験
- ・科学研究発表会等参加経験・受賞歴 等



子ども夢体験

小学校5・6年生対象
 夏季休業中 3日間
 20名×2箇所



国内企業の最先端技術開発の現場を体験
 例・ロボット
 ・リニアモーターカー等

大学の研究室における科学研究の現場を体験
 例・万能細胞 等

ドリーム講座



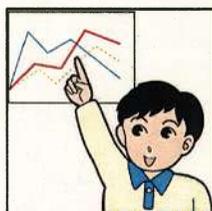
中学校1・2年生対象
 冬季休業中 半日日程
 会場の定員数

ノーベル賞受賞者など世界トップレベルの研究者による講演会
 ・実験等実演 ・質疑応答



チェンジあきた・教育プロジェクト事業 (あきた教育GP)

義務教育課



【本県の小・中学生の好結果の現状】

☆全国調査から

- 「全国学力・学習状況調査」
- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」
- 「問題行動調査」

【本県の小・中学生、大人の課題】

★平均的には資質や能力は高いが…

- ▲大きな夢をもち続ける児童生徒
- ▲傑出した人材の輩出
- ▲独創性や創造性、多様性に富む人材の育成

【ねらい】市町村教育委員会からの、小・中学校を単位とした特色ある教育プロジェクトの提案を基に、児童生徒のさらなる飛躍を促す取り組みを推進する。



【例えば…】

- 英語教育
- スポーツ
- 異文化体験
- 読書
- 芸術

テーマ例

○理数教育・医学振興 等



アイデアの提案

プレゼンテーション

県

市
町
村

学校単独
または
中学校区程度

小・中連携

審査委員会の審査

上限500万円
×10校×2年間

財政支援



＜期待される成果＞
大きな夢に挑戦する児童生徒
世界に羽ばたく秋田っ子
の育成

秋田県教育委員会

学力向上推進事業



○基礎学力の定着と向上を図るため、学習状況調査を実施し、課題の分析から指導方法の改善につながるサイクルを構築する。

【趣旨】○特に、理数系教科の学習意欲の向上と学習内容の定着を図るため、単元評価問題の配信及び学校訪問指導等の実施や大学等の教育力を活用する。

○児童生徒の個性や能力の伸長を図り基礎学力の向上を目指す市町村教育委員会や小・中学校の特色ある教育活動を支援する。

【事業概要】

学力向上を推進する4事業を実施する



学習状況調査事業

- 学力・学習意欲等に関する調査の実施
- 学習状況の把握・検証
- 学習指導の改善・充実
- 教育施策の検証・改善

算数・数学 学力向上推進事業

- 単元評価問題の配信
- 学校訪問指導
- わか杉思考コンテストの開催

理科支援員等派遣事業

※独立行政法人科学技術振興機構より受託

- 小学5・6年理科の観察・実験等への理科支援員の派遣
- 大学生等を理科支援員として活用

特色ある教育活動 支援事業

※補助率10/10、2か年

- H21・22年度継続実施…5地区
- H22・23年度新規実施…8地区

学習意欲の向上、基礎学力の定着、魅力ある学習指導、個性豊かな人材育成



確かな学力の育成



平成22年度不登校・いじめ問題等対策事業

義務教育課

資料 13

教育相談体制を整備し、児童生徒等の不安や悩み等を解消することにより、楽しく登校できるようにする。 ➡ **不登校やいじめなどの問題行動等の解決を目指す。**

教育相談体制の整備

スクールカウンセラーの配置

- ・ 66 中学校に分配 (33 拠点中学校 + 33 対象中学校)
- ・ 49 高校に分配 (6 拠点高校 + 43 対象高校)

心の教室相談員の配置

- ・ 17 中学校

広域カウンセラーの配置

- ・ 3 教育事務所

スクールソーシャルワーカーの配置

- ・ 4 か所 (3 教育事務所、教育センター)

相談電話の設置 (すこやか電話)

- ・ 9 か所 (8 教育事務所・出張所、教育センター)

スクールカウンセラー (臨床心理士)

- ・ カウンセリングによる心理的支援
- 心の教室相談員 (地域人材)

- ・ 相談活動による悩み等の解消

広域カウンセラー (臨床心理士)

- ・ スクールカウンセラー未配置校のカウンセリング

- ・ 事故等、突発的事案に対する緊急支援

スクールソーシャルワーカー (校長OB)

- ・ 学校等と関係機関のコーディネート

- すこやか電話 (指導主事等)

- ・ 学校に相談できない事案等に対応

問題行動等の解決
(不登校・いじめ等)

楽しい学校